

第 38 回日本助産学会学術集会

WEB 開催

日時 ライブ配信 10月5日(土)～6日(日)／
オンデマンド配信 10月21日(月)～11月29日(金)

テーマ 時空を超えてつながる命と心—人々の尊厳と多様性を支える助産

プログラム 会長講演 井村真澄(日本赤十字看護大学)／シンポジウム「ICM助産師のリーダーシップと国際協働」Sandra Oyarzo(ICM会長), Alison Eddy(ICM西太平洋地域理事)／カンボジア助産師会会長, 新福洋子(広島大学大学院)／「時空を超えて未来の助産師を考える」福井トシ子(前日本看護協会会長), 片岡弥恵子(日本助産学会理事長), 高田昌代(日本助産師会会長), 葉久真理(全国助産師教育協議会会長), 井本寛子(日本看護協会常務理事)／「世界を舞台に活躍する日本の助産師」木下倫子(UNFPAアンゴラ事務代表), 大田えりか(聖路加国際大学), 笹川恵美(日本赤十字看護大学)／「出産と禪との融合—女性の潜在能力と在りのままへの回帰(仮)」井上裕美(湘南鎌倉総合病院), 山名田紹山(建長寺), 本間由(湘南鎌倉総合病院), 武村和子(湘南鎌倉総合病院)／市民公開講座「マタニティ座禅」山名田紹山, 井上裕美, 本間由, 武村和子／「助産師の技の伝承」山本詩子(山本助産院)他／「女性と助産師のパートナーシップ(Birth for the Future—女性と未来を創る)」田中ゆか, クラーク朋子, パフモフ由香(ニュージーランドLMC助産師)／「周産期の助産ケア(世代を超えてつながる健康—妊婦の栄養と適正な体重増加量)」伊東宏晃(浜松医科大学), 白石三恵(大阪大学大学院), 藤田愛(山形大学大学院), 佐々木敏(東京大学大学院)／「新生児の能力に基づく助産ケア」Lise Johanson(The Brazelton Institute Division of Developmental Medicine Boston Children's Hospital), 儀間裕貴(東京都立大学), 大城昌平(聖隷クリストファー大学)／「早産児へのディベロップメンタルケア」有光威志(慶應義塾大学), 内海加奈子(都立墨東病院), 森口紀子(愛仁会高槻病院)／「ペリネイタルロスの支援における尊厳」太田尚子(静岡県立大学), 上田憲明(日本聖公会東京教区三光教会), 橋爪謙一郎(株式会社

ジーエスアイ代表取締役), 加部一彦(埼玉医大総合医療センター)／「子育てと家族継続支援(フィンランド・ネウボラの親子支援の本質)」高橋睦子(恵泉女学園大学), 西田淳志(東京都医学総合研究), 伊東優子(和光市わこう助産院院長)／「父親(パートナー)のへの子育て支援(仮)」竹原健二(国立成育医療研究センター), 小崎恭弘(大阪教育大学教育学部), 山口直人(川崎市北部地域療育センター)／「助産師のアントレプレナーシップ」竹林一(京都大学大学院・元オムロン株式会社イノベーション推進本部インキュベーションセンター所長), 宮下美代子(みやした助産院), 澤田優香(株式会社 OPERe 代表)／「助産師の情報発信能力・広報活動」井之上喬(株式会社井之上パブリックリレーションズ代表取締役会長兼CEO), 馬目裕子(日本赤十字社医療センター), 光畑由佳(モーハウス Mo-House 代表)／「デジタル技術の助産学への応用」小山博史(東京大学大学院), 江頭正人(東京大学大学院), 足立吉隆(芝浦工業大学)／「医療経済学的視点から出産を語る—保険適用の検討と出産の見える化」田倉智之(日本大学医学部社会学系医療管理学分野), 小暮かおり(東京大学大学院), 柴田直恵(厚生労働省保険局), 河合蘭(出産ジャーナリスト)／「母乳育児と経済」Julie Smith(The Australian National University), 名西恵子(東京大学), 稲田千晴(日本赤十字看護大学)／「アライナ助産師になろう—多様性を考慮した産婦人科医療の在り方を考える(仮)」池袋真(パーソナルヘルスクリニックジェンダー外来), 杉山文野(株式会社ニューキャンパス), 棚木めぐみ(調布マザリーズ助産院)／災害シリーズ①「石巻から能登へとつながる助産師の災害対応のバトン」高橋純子(石巻赤十字病院), 真坂雪衣(石巻赤十字病院), 吉田みち代(前石川県助産師会会長), 大野芳江(日本赤十字社医療センター)／②「減災に向けて動き出そう」福和伸夫(名古屋大学), 丸山嘉一(日本赤十字社医療センター), 宮川佑三子(大阪府母子センター)／オンデマンド教育講演／交流集会／各委員会・WG企画／ほか

※CLOCMiP レベルⅢ認証必須研修「マタニティケア能力 授乳支援」／「マタニティケア能力 妊娠期の栄養」／「臨床薬理(妊娠と薬)」

事前参加登録 9月30日(月)まで

登録方法 下記 Web サイトの登録フォームより

HP <https://jam.confita.atlas.jp/login>

参加費 会員 1 万 2000 円、非会員 1 万 5000 円、
学生(会員)無料、学生(非会員)4000 円

問い合わせ先 第 38 回日本助産学会学術集會事務局
株式会社インターグループ内

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-2-5 共同通信
会館 4F

TEL 03-5549-6909

FAX 03-5549-3201

HP <https://confita.atlas.jp/guide/event/jam38/top>

第 40 回日本分娩研究会

会場開催 **WEB 開催**

日時 会場開催 10 月 17 日(木)

会場 宮崎市民プラザ(宮崎県宮崎市)

テーマ 分娩の「波」を乗り越えよう！

プログラム 会長講演「分娩をとりまく波とは？」
桂木真司(第 40 回日本分娩研究会会長)／特別講演「分娩のこれからの方向性」中川慧(大阪大学医学部産婦人科助教)／スポンサードレクチャー「妊婦さんの気持ちに添った分娩台の開発の経緯」岸畑聖月(株式会社 With Midwife 代表取締役)／ワークショップ①「分娩経過の急速な変化の波・産科救急」「劇症型 A 群溶連菌感染症から妊産婦を守る！」長谷川潤一(聖マリアンナ医科大学・大学院周産期発生形態学分野教授)、「産科危機的出血最前線！」田中博明(熊本総合病院産科婦人科診療部長)／②「生まれない、産まない時代の波、助産師としてどう生きるか」「能登半島地震経験者から学ぶ災害時医療—南海トラフ地震への備え」桑田佳明(国立病院機構金沢医療センター副看護部長)、福岡睦子(国立病院機構金沢医療センター救急外来)、「中規模総合病院産婦人科での助産師の実践、院内助産、産後ケア、医師との協働作業の取り組み」田中優子(古賀総合病院周産母子センター師長)、「大規模総合病院での助産師の実践 助産師としてのキャリアをどのように生かして社会で有意義に活躍するか」岸畑聖月／ほか

参加登録期間 [銀行振込] 9 月 30 日(月)まで、
[クレジットカード] 11 月 28 日(木)まで

参加費 一般 6000 円、学生 2000 円

問い合わせ先 運営事務局 ネクストイノベーションパートナーズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋 2-6-13

TEL 03-3527-3853

FAX 03-3527-2456

HP <http://bunben2024.kenkyuukai.jp/special/?id=41566>

第 65 回日本母性衛生学会 総会・学術集會

会場開催 **WEB 開催**

日時 会場開催 10 月 18 日(金)～19 日(土)

会場 シーガイアコンベンションセンター(宮崎県宮崎市)

テーマ 共創—持続可能な母子の健康を目指して

プログラム 会長講演「臨床研究シーズは臨床現場にあり『先天性サイトメガロウイルス感染症と 3D カメラによる新生児身体測定』」金子政時(宮崎大学大学院看護学研究科教授)／特別講演①「5 つ子ちゃんからのメッセージ」池ノ上克(九州医療科学大学学長)／②「新生児殺を防ぐための内密出産」蓮田健(聖公会慈恵病院院長)／③「カメラによる豚の体重推定(スカブター)と新生児の身体測定への展開」川末紀功仁(宮崎大学工学部教授)／④「最近の母子保健行政の動向」石丸文至(こども家庭庁成育局母子保健課推進官)／教育講演①「妊娠と糖尿病」鯨島浩(宮崎大学学長)／②「助産学共用試験の推進：助産学 OSCE を中心に」村上明美(神奈川県立保健福祉大学学長)／③「安全なお産を守るために 産科医・助産師の連携による産科医療チーム強化実現へ向けた ALSO の取り組み」新井隆成(董仙会恵寿総合病院センター長)／④「症例でみる OC/LEP 製剤と血栓症—安全な使用を目指して」小林隆夫(浜松医療センター名誉院長)／⑤「周産期医療における遺伝カウンセリング」福島明宗(済生会北上済生会病院院長)／⑥「妊産婦急変時の対応—その時どうする？」荻田和秀(りんくう総合医療センター産婦人科部長)／2024 年度 JSMHEBP 学会指定研修プログラム A「社会的ハイリスク妊産婦とメンタルヘルス：産科・地域保健・精神科の連携システム」中塚幹也(岡山大学学術研究院保健学域おかやま妊娠・出産サポートセンター教授)／

B「思春期からの妊活教育—妊娠しやすい身体作り」斎藤益子(関西国際大学客員教授)／シンポジウム①「学校だけに頼らない！みんなでやろう性教育！」鶴田来美(周南公立大学人間健康科学部看護学科教授), 赤木夏代(すみれ助産院院長), 杉村由香理(日本家族計画協会家族計画研究センター), 門間美佳(藤沢女性のクリニックもんま院長)／②「産後1年までの女性の心身の回復への支援を考える」島田祥子(東京医療保健大学大学院医療保健学研究科), 常盤洋子(新潟県立看護大学教授), 有光威志(慶應義塾大学医学部小児科), 下山祐佳(株式会社ベネクス)／③「災害対策関連」鈴木真(豊見城中央病院附属健康管理センター院長), 津田尚武(久留米大学医学部産婦人科主任教授), 新井隆成, 坂口勲(さかぐち女性のクリニック院長), 赤木夏代／④「産後の骨盤底筋群の問題」吉田美香子(東北大学大学院ウィメンズヘルス・周産期看護学分野教授), 重田美和(昭和大学横浜市北部病院女性骨盤底センター), 遠藤誠之(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科学講座教授)／⑤「心の“ゆらぎ”を“ケア”で整える—メンタルヘルスが不調な女性へのアプローチ」宮下美代子(みやした助産院院長), 横山顕子(よこやまクリニック院長), 新地美穂(特定非営利活動法人PT プラネットみやざき理事長)／⑥「子宮頸がんを排除するために」黒田恵子(宮崎市役所主幹・係長), 川越靖之(宮崎県立看護大学教授), 小西宏(日本がんバイオマーカー研究ネットワーク代表理事)／市民公開講座「日本神話にみる母と子—トヨタマヒメの出産の物語を中心に」大館真晴(宮崎県立看護大学教授)／オンラインセミナー「分娩期の胎児心拍数陣痛図(CTG)」金子政時／「意思決定支援」土井宏太郎(宮崎大学医学部附属病院)／「新生児フィジカルアセスメント」児玉由紀(宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座産婦人科学分野)／ほか

参加登録期間 ～11月18日(月)正午

参加登録方法 下記Webサイトより

HP <https://www.congre.co.jp/jsmh65/registration/index.html>

参加費 会員1万4000円, 非会員1万6000円

問い合わせ先 運営事務局 株式会社コングレ九州支社

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-9-17-11F

TEL 092-718-3531

FAX 092-716-7143

HP <https://www.congre.co.jp/jsmh65/index.html>

第20回日本周産期メンタルヘルス学会

会場開催 **WEB開催**

日時 会場開催 10月26日(土)～27日(日)

会場 TFT ホール 西館2階(東京都江東区)

テーマ 少子化時代の周産期メンタルヘルス—一人ひとりを大切に診る

プログラム 会長講演 牧野真太郎／シンポジウム

①「周産期メンタルヘルスとチーム医療」根本清貴, 齋藤知見, 玉木敦子／特別講演①木庭愛／パネルディスカッション①「妊娠うつ病・妊娠悪阻・出産恐怖症・胎児ボンディング障害・妊娠期希死念慮は同一疾患か？」北村俊則, 佐藤昌司, 山本智美／モーニングセミナー「こどもの虐待予防 地域連携」鷺山拓男／シンポジウム②「妊娠週辺期のメンタルヘルスケア」黒田恵司, 平野大志, 宗田聡, 並松響子／ほか

参加申込期間 [事前登録] 9月30日(月)まで,

[通常登録] 10月1日(火)～11月29日(金)正午

参加費 [事前登録] 会員1万円, 非会員1万2000円, 学生1000円, [通常登録] 会員1万2000円, 非会員1万3000円, 学生2000円

申込方法 下記Webサイトの登録ページより

HP <https://procomu.jp/pmh2024/registration.html>

問い合わせ先 運営事務局 株式会社プロコムインターナショナル

〒135-0063 東京都江東区有明 3-6-11 TFTビル東館9F

TEL 03-5520-8822

HP <https://procomu.jp/pmh2024/index.html>

※掲載している情報は8月25日時点のものです。最新の情報は主催元にご確認ください。